

令和4年 第2回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会

【佐織地区】

令和4年 第2回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会

【佐織地区】

会議録

| | | | |
|------|---------------|----|-------|
| 開会日時 | 令和4年11月22日(火) | 午後 | 2時00分 |
| 閉会日時 | 令和4年11月22日(火) | 午後 | 4時07分 |
| 場 所 | 佐織支所 第1会議室 | | |

●佐織地区

■出席委員

| | |
|-------|--------|
| 会 長 | 若山 壽雄 |
| 副 会 長 | 諏訪 淑子 |
| 委 員 | 祖父江 康德 |
| 委 員 | 伊藤 明雄 |
| 委 員 | 里村 昌史 |
| 委 員 | 伊藤 基成 |
| 委 員 | 西村 幸男 |
| 委 員 | 松永 登 |
| 委 員 | 井戸田 一仁 |
| 委 員 | 野口 悟 |
| 委 員 | 渡邊 祐香理 |
| 委 員 | 杉村 定則 |

■事務局

教育長
教育部長
教育部次長
学校教育課長
学校教育課主幹
学校教育課課長補佐
学校教育課主事

平尾理
三輪進一郎
小島洋志
猪飼政和
吉田光男
坪井靖史
伊藤尚記

■傍聴者

5名

1 開会

2 あいさつ

3 議事

- (1) 市内の小中学校の現状について
- (2) 学校規模適正化等について
- (3) その他

4 閉会

| | |
|--------------|---|
| <p>(事務局)</p> | <p>1. 開会 開会宣言</p> |
| <p>(教育長)</p> | <p>2. あいさつ</p> <p>10月20日に第1回の全体会を開催させていただきました。本日は第2回目、佐織地区協議会の初回であります。10月20日は、平成26年度着手以降、現在に至るまでの概要を説明させていただきました。本日は、再度、確認の意味を込めて説明させていただきます。少子化につきまして、日本全国で深刻化しております。愛西市においても、子どもの減少傾向が驚くほど加速しております。少子化が進むと、学校本来の教育環境に影響が及ぼされるのではないかと危惧しています。</p> <p>また、愛西市内小中学校の老朽化について、市内には18校ございますが、そのうち5校は早急に対応しなければなりません。ただ、佐織地区に関しましては、区分Ⅱにあたる学校がありますので、徐々に着手をしなければなりません。</p> <p>本日お見えの皆様には、将来を担う子どもたちの教育環境について多方面からご議論いただき、一步でも前に進めたらと思います。佐織地区の子どもたちだけでなく、愛西市の子どもたちのためにご議論いただけるとありがたいと思います。</p> <p>改めて、この会議でお願いしたい点が4点あります。1点目は、愛西市の将来を担う子どもたちのより良い教育環境を提供する点。2点目は小規模中学校のデメリットが非常に多いということで検討協議会委員の判断でしたので、中学校をどうするかという点。3点目は地域の問題を市全体の問題としてご意見を賜りたい点。4点目は、本協議会は、最終決定機関ではありません。協議会案に対して皆様方のご意見をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>では、若山会長よりご挨拶をいただきますので、よろしくお願いたします。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>地区協議会に課せられた命題は、愛西市の次世代を担う子どもたちの教育環境をいかにしていくかだと思います。この会は、最終決定機関ではありません。それぞれの地域でご意見等があると思いますが、今後の協議会の1つの方向性を見出すような会議にしていけたらと考えております。忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。</p> |

| | |
|-------|---|
| (事務局) | <p>では、議事進行に移ります。会長に議事進行していただきますので、よろしくお願いいたします。</p> |
| (会長) | <p>3. 議事</p> <p>それでは、(1) 市内の小中学校の現状について説明をお願いいたします。</p> |
| (事務局) | <p>本日は、以前に配付させていただいている資料を基に説明させていただきます。</p> <p>また、議事に入る前に、議事録の作成について確認させていただきます。</p> <p>本協議会の議事録の承認については、2回あとの会議で承認をいただいた後、愛西市ホームページに掲載させていただきたいと思います。</p> <p>発言者の表記についてですが、事務局の発言は「事務局」、教育長の発言は「教育長」、会長の発言は「会長」とし、委員の皆様は「委員」とさせていただきます。話し言葉は、書き言葉に直させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> |
| (会長) | <p>事務局から説明のとおり、議事録の公表、表記についてご意見ありましたらお願いします。</p> |
| (委員) | <p>表記の仕方は良いですが、通常の議事録は、最後に署名があるケースがあると思われま。そのようなことはされませんか。</p> |
| (事務局) | <p>これまで教育委員会内の会議での署名は、教育委員会では署名を行っておりますが、会議録の中で、例えば、第2回の議事録について全委員からの承諾をいただけましたら「全委員異議なし」と表記させていただきますので、それをもって皆様のご承諾をいただけたことを示し、署名を省略できればと思いますがいかがでしょうか。</p> |
| (会長) | <p>先程の話で、各委員に配布され、確認していただき、会議の中で議事録の承認という形となりますが、よろしいでしょうか。</p> |
| (委員) | <p>《全委員異議なし》</p> |
| (会長) | <p>異議がないようですので、よろしくお願いいたします。</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>(事務局)</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>では、議事の説明に入らせていただきます。</p> <p>① 児童生徒数の推移</p> <p>「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会報告書」資料 2-1「学校規模適正化・適正配置について」、当日資料 1「学校区別児童生徒数調べ（未就学児童）」、2-5「教員定数配当基準表」、2-6「愛西市立中学校教員数の推移」、資料 2「津島高等学校、清林館高等学校進学者数」について説明</p> <p>② 老朽化の現状について</p> <p>資料「地区検討協議会への申し送り事項小中学校カルテ」について説明</p> <p>③ 学習内容・学習形態の変化について</p> <p>平成 29 年に学習指導要領が改訂され、学習内容が大きく変化しております。道徳の教科化と小学校の外国語ですが、道徳については、いじめが絶たないことから道徳の教科化が必要になったと言われております。小学校の英語も教科化されていますが、同様に中学校でもプログラミング、英語において新しい教育が導入されています。</p> <p>プログラミングについて、能動的なプログラミング教育が求められ、生徒自身がどのようにソフトやアプリを使うかを判断する、どのように問題解決するか自分で考える力が必要とあります。</p> <p>英語については、コミュニケーション能力を高める英語が求められており、自分を表現する力を高め、事実をきちんと伝える力、さまざまな文化を受け入れ、自分の考えを発表する力を高めることが記載されました。</p> <p>ICT 教育について、令和 2 年度に児童生徒 1 人 1 台タブレット端末が配備され、タブレットを使用した授業が行われております。ICT 教育の導入により、自分の意見だけでなく、他の児童生徒がどのように考えているのかについて触れることができます。子どもたちは、人に見られる前提で意見を書くことになるため、どのようにすれば自分の思いが通じるか、自分の意見を分かりやすく表現することができるか、また、相手の意見を聞いて受け入れ、自分の意見として表現する能力が必要になると言われています。</p> <p>学びの共同体について、先生が生徒に教える授業から子どもたち同士が相談、考えるような授業が多くなりました。これまでのように知識を詰め込むのではなく、持っている知識を組み合わせ、発展させる力を育み、勉強だけでなく、社会の様々な場面で知識や技能が活かせるような子どもたちを育てることが学校に求められています。</p> |
|--------------|--|

| | |
|-------|--|
| | <p>学習内容・学習形態の変化について以上とさせていただきます。</p> <p>④ 地域における学校の存在意義</p> <p>地域コミュニティの核について、文部科学省の管轄会議にある「コミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりの一層の推進に向けて」の報告の中に、学校と地域の関係を捉えていく上で大切な視点は、学校が子どもの学びの場にとどまらず、大人の学びの場でもあり地域づくりの核にもなる視点であり、学校を核として地域の人々が集い、繋がり、活動する中で互いに自立し、助け合い、励まし合い、よりよく成長していくための地域コミュニティが活性化し、再構築に繋がることが期待される。また、地方創生の観点からも学校を核として、地域に愛着と誇りを持ち、志を持って、地域を担う人材育成を図るとともに、子どもとの関わりの中で、大人の学びのコミュニティを作り、地域づくりを果たしていくことが期待される。大人の学びが活性化され、成熟した地域が作られることは子どもの豊かな成長にも繋がり、人づくりと地域づくりの好循環を生み出すことに繋がる。このように、学校が子どもたちの学びの場だけではなく、地域活性化に繋がる核となる施設でないかという論文も発表されています。</p> <p>「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会報告書」資料4「避難所としての機能」について説明</p> <p>⑤ 「協議会（案）」提案内容と提案理由</p> <p>「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画（協議会案）」について説明</p> |
| (会長) | 委員の皆様、ご質問等ありますでしょうか。 |
| (委員) | 次第の④地域における学校の存在意義の地域コミュニティの核について説明がありましたが、私は西川端の総代をしており、コロナの影響もあるとは思いますが、役員のみならず、子ども会、老人クラブの解散といった状況で苦勞している現状があります。地元だけでは耐えられないこともありますので、行政として何か踏み込んでお助けいただけたらと思います。 |
| (会長) | 基本的には、地域のコミュニティとしての役割が、なかなか果たしきれない現状があるけれど、学校との兼ね合いもあり、機会があればお話をしていただければと思います。 |
| (事務局) | ご意見にありました件は、市民協働課に伝えさせていただきます。 |

| | |
|--------------|---|
| <p>(会長)</p> | <p>他にご質問等ありますでしょうか。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>学校施設の老朽化に評価値と区分がありますが、専門業者が見られた評価値という理解でよろしいでしょうか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>老朽化対策検討委員会は、建築に携わる方もお見えでしたが、実際にコンクリートの中酸化等の試験は実施しておりません。ここにある評価値は、委員が現地を見て感じたこと、学校の先生からのアンケート、近年の修繕、保守点検業者からの指摘事項を複合して評価値として置き換えて、数字によって学校の老朽化度合いを示したものですので、専門的な調査は入っておりません。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>他にご質問等ありますでしょうか。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>佐織地区の中学校 2 校は、ここ何年かは、各学年 2 クラスずつ以上ある前提で 11 人以上の先生が確保できますが、統合する予定の八開中学校においては、先生が 9 人だと思いますが、教科が 10 教科あるため、普通に考えて先生が 10 人必要になりますが、八開中学校はどのように対応されていますか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>八開中学校の場合は、正規教員が 9 人で、プラスして指導加配で正規ではないが十何時間で配置、少人数対応による教員の配置、市からも少人数指導で非常勤の先生を配置してもらっています。また、再任用の方をハーフとして 2 人で 1 人分ということで専門の先生を賄っている状態です。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>先生の数が足りていないのは現実だと思います。半分の時間しか持たないので、学校の掛け持ちをされると子どもとの繋がりがどうしても残念になると思います。その辺りを配慮していただけたらと思います。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>他にご質問等ありますでしょうか。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>協議会案 7 ページ④について、「八開・佐織西統合中学校のどちらかが過小規模校となるまでに統合する」とありますが、例えば、佐織中学校に 1 つにまとまった場合、八開の川北地区は 6 km を越えると思いますが、その辺りは考えていらっしゃいますか。</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>(事務局)</p> | <p>まだ検討がされていない部分になりますので、今後配置についての議論が必要です。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>将来的な話になりますので、議論の対象になっていないということだと思います。</p> <p>時間も限られていますので、(2) 学校規模適正化等について説明をお願いします。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>⑥中学校統合についての是非について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過小規模校のメリット・デメリット 資料「令和4年6月改訂 愛西市立小中学校適正規模等基本方針」について説明 ・配置場所について「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会報告書」資料1「佐織西中学校からの通学距離」について説明 |
| <p>(会長)</p> | <p>委員の皆様、ご質問等ありますでしょうか。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>小学校は1学級40人で行っていると思いますが、40人として1学級としているのか、基本方針8ページに1学年36人で2学級であることから、1学級18人にしたとありますが、最低何人から何人までが1学級として認められますか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>現在、小学校は段階的に35人学級になりつつあります。国の法律では、小学校3年生までが35人学級ですが、愛知県は独自で小学校4年生までを35人学級としております。段階的に進んでおり、令和7年度までに全学年が35人学級になります。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>中学校はどうでしょうか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>中学校は1年生が愛知県独自のルールで1年生が35人学級、2年生、3年生は40人学級です。</p> |
| <p>(教育長)</p> | <p>適正規模、小規模校、過小規模校の定義は、クラス数で決められております。しかし、非常に少なくても1クラスになります。極端な話で、5人、6人でも1クラスになります。同じ1クラスでも35人もあれば10人の場合もあります。どちらも1クラスとして計算できますが、中身の問題もあると思います。35人学級で1人増えた場合は36人になり、そ</p> |

| | |
|-------|---|
| | うなると、18人ずつになります。定義はありませんが、おそらく18人が子どもたちの社会集団の1つの単位に見なすことができると思います。市内の学校でも17人のクラスがありますが、13人が女性、4人が男性といった男女の比率が歪になるケースもあります。 |
| (会長) | 資料1の開治小学校を見ていただくと、男子が8人、女子が1人、同じく八輪小学校を見ると、男子が2人、女子が9人ですが1学級カウントになります。現状、このような数字でもクラスが存続していますが、子どもたちの学びがこれで良いかを考えなくてはなりません。 |
| | 他にご質問等ありますでしょうか。 |
| (委員) | 2、3、4kmと自転車通学になると思いますが、実際に子どもたちがどう思っているのか意見はあるのでしょうか。 |
| (会長) | それぞれの学校で4km以上の通学の子どもはいらっしゃらないですか。 |
| (事務局) | 私が立田南部小学校にいた時は、一番遠いところで1時間近くかけて歩いてくる子はいました。中学生は、30分から40分で学校に通っていると思います。 |
| (教育長) | 福原の子たちは遠いです。 |
| (委員) | 子どもはどのような気持ちで通っているのか気になります。 |
| (教育長) | 文部科学省は、中学生の通学距離で6kmを1つの目安としています。それと同時に通学時間では、1時間はストレスがかからないと言われていきます。自転車でゆっくり来たとしても、時速12kmと言われていきます。 |
| (会長) | 通学の話がありましたので、⑧についてお願いします。 |
| (事務局) | 佐織地区の小中学校は、現状の通学距離、時間に変更が無いため、⑧については本日の協議会から外していただきたいと思います。 |
| (会長) | それでは、⑨についてお願いします。 |
| (事務局) | 統合時期について、協議会案で進んだ場合として説明させていただきます |

| | |
|--|--|
| | <p>ます。</p> <p>⑨統合時期について</p> <p>「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会報告書」資料 2-3「愛西市立中学校生徒数の推移」について説明</p> <p>検討協議会からの提案では、八開中学校と佐織西中学校の統合という提案をいただいております。佐織西中学校は、9 クラス無い年度がありますが、現在、八開中学校は 5 クラス以下であり、過小規模校となっております。</p> <p>教育委員会は基本方針に沿って、八開中学校の過小規模校をできるだけ早く解消したいと考えております。検討協議会案では、「統合時期について準備ができ次第速やかに」とあり、八開中学校と佐織西中学校の統合が地区検討協議会を踏まえて、皆様の同意、地域の合意等をいただけたら速やかに統合に向けた準備を進めたいと思います。</p> <p>統合には、ハード面であれば学校、駐輪場、下駄箱、生活するために必要な施設、設備が整っているか、ソフト面であれば、子どもたちの負担が少なく統合ができるような準備が必要になると思います。また、統合に関しては、議論できていない部分があると思いますので、⑩統合校連絡調整会も必要かと思っております。八開中学校と佐織西中学校の関係者、八開地区の検討協議会と調整するような会も必要になる可能性があると思っておりますので、協議、検討を踏まえ、早い時期に統合をしていきたいと考えております。</p> <p>(会長) それに向けた保護者向けの調査が、⑪保護者の意識調査になりますので合わせてお願いします。</p> <p>(事務局) 保護者の意識調査も必要に応じて行う必要があると思います。保護者の定義も現在通っている保護者か、今後通うことになる保護者か、また、保護者だけでなく小規模校と呼ばれる学校を卒業した子どもたちが高校に入り、どのように思ったかの調査も価値があるかもしれません。</p> <p>意識調査とありますが、アンケートになるかと思っております。現在、別の地区検討協議会でアンケートを行いたいとの意見を 1 地区からいただいております。同様に、佐織地区検討協議会からも保護者だけでなく、卒業生、地域の方、全市民といった対象を決め、聞く内容を決めて調査が必要であると結論が出れば、速やかに準備を進める必要がありますので、検討協議会で調査が必要であるかを含め、諮っていただきたいと思っております。</p> |
|--|--|

| | |
|-------|---|
| (会長) | <p>具体的にこのようなことが必要だと思えることがこれからも出てくるかと思えます。⑬までの概略を説明いただきたいと思います。</p> |
| (事務局) | <p>⑫地区説明会について</p> <p>各地区で協議会を行っておりますが、議論が終わり次第、教育委員会で素案という形で取りまとめを行い、まとめたものを基本計画の案として各地区で説明会を予定しております。各地区の説明会におきましては、委員の皆様にも積極的に参画していただけるとありがたいと思えます。</p> <p>⑬地域における学校の存在意義について</p> <p>佐織地区に関しましては、学校について変更する案がございませんので、割愛させていただきます。</p> |
| (会長) | <p>⑦から⑬まで説明がございましたが、委員の皆様から協議会案についてご意見をいただければと思えます。</p> |
| (委員) | <p>中学校の学区を考える場合、小学校単位で考えられていますが、八開の学校が佐織西中学校と統合する中で、思ったことがあります。</p> <p>長野県にある川中島の近くに三本柳小学校という大きな学校があります。ただ、同じ中学校へ行くことはなく、3つくらいの校区に分かれて通学します。せっかく新しく校区を決められるのであれば、八開地区の八輪小、開治小、立田地区の立田北部小、立田南部小学校の子たちが、近くの中学校に通えるようにするのはどうでしょうか。八開立田佐織の殻を破り、小学校で校区を決め、卒業したらこっちの学校に行くという融通の利く学区割が出来るのではないかと思います。中学校は、たくさんの先生がいた方が指導も行き届くと思えます。小学校は、出来るだけ残す方向が良いと思えます。</p> |
| (会長) | <p>基本計画に、「中学校は南部と北部に1校ずつとする」とあります。こちらを踏まえると、この小学校はこの中学校へという流れを作らなくてもいいと感じます。立田北部小学校の子たちが必ず佐屋中学校に行くのではなく、佐織西中学校へ行けるような通学区域の弾力性があっても良いと思えます。</p> |
| (委員) | <p>中学校区については同意見で、現在も立田の早尾の子たちが草平小学校の方が近いから草平小学校へ通うこともよいわけで、立田地区の子だから立田中学校は佐屋中学校へというのは混乱する部分があると思えます。地域での人間関係が崩れてしまうということであれば変わりますが、</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>(委員)</p> | <p>その辺りは各家庭の判断で相談して選択いただけたらと思います。</p> <p>統合後のイメージですが、1クラスが2クラスになる場合、1クラスに同じ学校の子を集めるのか、1クラスに他地区の子も混合でクラス編制がされるのかどちらをイメージされていますか。</p> <p>統合後は統合した意識があると思うので、いじめの問題等のトラブルに繋がらないか不安な部分があります。そのような意識調査がされた例はないのかなと思います。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>意識調査に関してはすぐに思い浮かびませんが、学級編制に関しては、せっかく同じ中学校になるのであれば、メリットの中にもありましたが、人との繋がり、関わりを持つことが大事なので、学校の方も同じ中学校の生徒としてクラス分けをしたいと思います。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>4クラスに1クラスが混ざることになった場合、5クラスになり、前からいる中に4、5人が入ることに対する心配が出てきます。</p> |
| <p>(教育長)</p> | <p>ソフトランディングしなければならないと思いますが、今の子どもたちは順応性が高いと思います。最初は気を付けなければいけないと思いますが、生徒の雰囲気を見て指導をしたり、お任せすることも中学生においては、必要だと思います。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>学校までの近い遠いは出てくると思いますので、子どもたちの体のためとか、先生の配置はどうなるのか気になります。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>近い学校、好きな学校を選べるということですか。</p> |
| <p>(会長)</p> | <p>好きなという用語弊が出てきますが、物理的な制約はあると思います。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>この会に参加するにあたり、資料を見せていただいて改めて少子化の影響を目の当たりにしています。先の検討協議会で協議いただいた小学校中学校のデメリットについて話し合い、子どもたちがいかにして良い環境で勉学に励めるかに尽きると思います。色々な意見があると思いますが、これからの子どもたちのために良い方向に進んでほしいと思います。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>幼稚園の経営をしていますが、資料1の学校区別児童生徒数調べ(未</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>就学児童)の0歳児の数を見た時に、数年後これだけ少ない子どもたちでどのようにしていくかの不安があるので早く対応することが必要だと思います。</p> <p>中学校が統合することに関しては、私自身、中学2年生のとき、佐織中学校と佐織西中学校に分かれた時期でした。ですので、現在の佐織西中学校区から佐織中学校へ来ることに対しては当たり前のように思っていました。中学生の場合は、自転車で行けるので良いと思いますが、小学生の問題のときは、歩く距離が長くなり、日差しの中を歩く姿を見ると大変だと思いました。</p> <p>(委員) 人件費のこともあるとは思いますが、できるだけ校区は触らない方が良いと思います。中学校に関しては、自転車で移動できるのである程度広くなることは良いと思いますが、小学校に関しては、このままの方が良いと思います。</p> <p>教員の配置基準があり縛られますので、学校現場は、知恵を出し、汗をかきながら頑張ってみえると思います。最終的には基準や予算等の色々な上限がある中で知恵を出し合いやっていただいております。また、この案を作られた学校教育課の方も大変だったとは思いますが、少しでも手伝いが出来たらと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>(委員) 少子化問題が深刻化しています。市もそうですが、国として未来を担う子どもたちを増やすにはどうしたらよいかお聞かせ願いたいです。</p> <p>(教育長) 愛西市は、子育て支援を手厚くしておりますが、どれだけ手厚くしても1億2000万人いる人口が、40年後には3分の2ほどに減っていきます。自治体同士が競い合っても仕方がないほど減ってきています。私たちが言えることではないですが、皆様と同じ思いだと思います。</p> <p>(委員) もう一つお聞きしたいのが、道徳の教科化に関して、始めた時はいつなのでしょう。か。</p> <p>私が生徒だった40年前は、道徳が必ず土曜日にあり、みんなでミーティングをして集団下校で帰った記憶がありますが、ここに書いてあるということは教科として外れた時があるのでしょうか。</p> <p>(教育長) 教科ではなかったということです。評価していなかったということになります。</p> |
|--|--|

| | |
|-------|--|
| (委員) | 評価ということは、点数が付きますか。 |
| (教育長) | 評価は 5 段階ではなく、記述によって子どもの変容について評価をいたします。 |
| (委員) | <p>通学路の問題に関して、安全に通学してもらうために、小学校は集団登校する時に交通量の少ないところを通るような配慮が必要になると思います。中学校は、自転車ですので、自由に登校できると思います。</p> <p>これから、寝坊した子を親が送っていく事態が出た時に、送ってくれる家庭と送ってくれない家庭が出てきてしまうのではと不安に思います。</p> |
| (会長) | <p>通学に関して、原則は保護者が最終的に責任を持たなければなりません。学校も指導はしますが、それぞれの子どもに先生が付いていくわけではありませんので、やはり親御さんがきちんと学校へ行けるように指導しないといけないと思います。</p> |
| (委員) | <p>今後、そのような問題が発生した時に、スクールバスが必要になると思います。校区について、市議会議員も非常に関心があるため、私たちが決めて議員さんの意見で変わることはないでしょうか。心配いたします。</p> |
| (委員) | <p>統合の時期について、出生数、児童数の資料を見て、何年後かにはしなければいけないことが目に見えていると思います。地区への説明も必要だとは思いますが、「何年度までにはこうしたい」とトップダウン式でやっていかないと難しいと思います。この時期にこの 2 校は統合しますという方が地区への納得もいくのではと思います。</p> <p>授業においても、専門的に教えていない教科を他の先生がカバーしなければならない教育的な問題があると思います。</p> <p>スポーツにおいても、国から土曜日の部活動について、「令和 7 年までに進めていただきたいので協力してください」と期限を切られました。このように上から頼まれて、そういった機運にならないと色々協議しても話が進まないと思います。</p> |
| (委員) | <p>私は教員ですが、例えば 40 人、10 人のどちらかを教える時に、10 人に向けて授業をする方が教えやすいので人数が少ない方が良いと思う部分もありますが、それは 20 年 30 年も前の教育の話です。今は、子ども</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>たちが生きていくための力を付けるところに重点が置かれており、揉まれながら育っていくにはどうするのかを文部科学省も言っているので、そういった子どもを育てるには、人数が多くないと育たないと感じます。いろんな人と関わり、発信できる力を身に付けることを目標にしているので、人数が多いとありがたいです。</p> <p>小中学校の問題で色々上がっていますが、一番は老朽化だと思います。草平小学校も窓が木の枠になっています。開けたら戸が外れてしまうくらいですが、愛西市には限られた修繕費しかないので、それ以上のことができません。どの小中学校もできる範囲で対応しています。愛西市は、18校あるので、限られた予算を分配していると思います。それであれば、数を減らしてでも、安全な学校を造り、子どもたちが誇りに思う学校にしてほしいと思います。</p> |
| (会長) | <p>現場の声として受け取っていただき、子どもたちには良い環境をと思います。</p> |
| (委員) | <p>学校名の話になりますが、地域、卒業生の思いも多々あると思います。この件についても、地区協議会の総意として柔軟な対応をしていくべきだと思いますがいかがでしょうか。</p> |
| (会長) | <p>現在の学校名には地区の名前がついていますが、今後も固執していくのか、統合した段階で新しい名前にするのかも含め、話を詰めていけたらと思います。</p> <p>本日は、ここまでにさせていただきたいと思いますが、事務局より何かありますでしょうか。</p> |
| (事務局) | <p>次回、地区検討協議会の日程をお知らせいたします。第3回の佐織地区検討協議会は、12月13日(火)午後2時からを予定しておりますのでよろしくお願いします。</p> |
| (会長) | <p>これをもちまして、第2回愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会【佐織地区】を終わります。</p> <p>4. 閉会</p> |